

※ 次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 きれいなぬの

2 農薬をさんぷする。

3 教科書をはいふする。

4 さいふを新調する。

5 人口のぶんぷ

6 ふじん

7 看護ふ

8 しゆふ

9 ふうふ

10 かせいふ

※ 知らない言葉をそのままにしないこと。

なまえ

富

武

● 富とみ ● 富を築く。 ● 富ふ ● 富くに強兵。 ● 変化に富んでいる。 ● 貧富の差 ● 富山県の知識 ● 豊富な知 ● 武士の形 ● 武者の出身 ● 武道をたしなむ ● 武力で解決する。 ● 武器を着ける。

※「燃焼」は小学校では習わ
 ないことになっていますが、
 常識として知っていてほしい
 ので載せました。

なまえ

否定の言葉①「不」

打ち消しの意味を表す語「不」がつく言葉

人が「そうじゃない」と打ち消すときは、プツと音をたてて口をふくらませて言うようすから、《……でない》という意味で使うようになった。

(くもん出版『漢字字典』)

□に、熟語の説明を書きなさい。

不安

「安心」しない。

不幸

不足

不調

不便

不満

不公平

漢字テスト 81

二月号第一週水曜日教材

※ 次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

1 とみを築く。

2 変化にとんでいる。

3 ひんぷの差

4 とやまけん

5 ほうふな知識

6 ぶし

7 むしやにんぎよう

8 ぶけの出身

9 ぶどうをたしなむ。

10 ぶりよくで解決する。

※ 知らない言葉をそのままにしないこと。

なまえ

えっ！ 私たちが裁判!?

★木曜日の作業

へ作文の計画を立てよう

裁判に関わる人は特別な人だけではなくなります。二〇〇九年から、国民の中から選ばれた人が裁判官とともに裁判を行う裁判員制度が始まりました。

要約メモ作り

『中学入試によく出る小学5年生からの時事問題』の「13裁判の問題」を読んで、この単元に関する要約文を書いてみましょう。質問に答えることで、自然に大事なことが選べるようにしてあります。書きこみながら「ああ、これがこの章で大切なところなんだ」と感じ取って下さい。そしてテキストにある言葉を書き写すことで、この章の中での重要な言葉を覚えてしましましょう。

君も、裁判官

たとえば、お金の貸し借りで問題がおこったとき

□ □ □ □ □ □ □ □

でおた

がいが

□ □

すれば、それが一番良い方法です。しかし、いくら話し合っても納得で

きないとすれば、

□ □

で解決するとういう方法が有効です。争いとは

□

のない人に

□ □

をまかせるのです。こうした

□ □ □ □

によ

る裁判は、今ではどこの国でも行われています。しかし、国によってその形はさまざまです。

□ □ □ □ □ □

も裁判に参加させて専門の裁判官といっしょに

□ □

を下す方法を取る国もあり、日本もその方法をとることが決まりました。「

□ □

[] [] [] []

」といひます。

裁判で裁かれるもの

・裁判には

[] [] [] [] [] [] [] [] [] []

の2つの種

類があります。

[] [] [] [] [] []

は犯罪を犯した人を裁く裁判です。また

[] [] [] []

はお金や土地、家族についての争いなど個人の間の問題を裁

く裁判です。裁判員制度の対象となるのは

[] [] [] [] [] []

です。

[]

[] []

に選ばれた人は、専門の裁判官と話し合って、被告人が

[] []

か

[] []

かを、決めます。また、どのような刑罰にするかという「

[] []

」

をも決めるのです。

時間のかかる裁判

・日本の裁判はとても長い時間がかかることで有名です。その原因は、

[] []

[]

や

[]

などの

[]

などの

[]

の数が少ないということが

[]

そのものが複雑だということもあ

[]

あげられます。また日本の

[]

を改革する必要性が求められ、

[]

の導入や、法律家を育てるしくみの改革などが始ま

げられます。こうした

[]

の導入や、法律家を育てるしくみの改革などが始ま

[]

つています。

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

[] []

人工知能が発達し、様々な仕事が機械やロボットでもできるようになりました。例えば、駅の自動改札などもそうです。先生が子ども頃は、まだ、駅員さんが改札に立って、ハサミで切符に印を入れていました。信じられないかもしれませんが、どこからどこまでいくらの切符を買ってきたのか、駅員さんが「目」で判断していたのです。それが、自動改札機の登場で、仕事はより早く、より正確になり、完全に人より優秀だということになりました。また、量産すること、価格も抑えられ、今は、ほとんどの駅でこの自動改札機が導入されています。

実は裁判も同じ考えで、人ではなくA-I（人工知能）の方が優秀だと言われます。裁判官も結局は過去の判例をもとに量刑しています。ですから、人間が判断しなくても、事件の内容を入力するだけで、刑罰が与えられるということです。どういう状況でその事件が起きたのかということ、被告と原告の関係などの情報を入れるだけで、「罰金〇〇円」とか「禁固〇年」などの判決があつという間に出るといわけです。

あなたは、裁判という世界にA-Iを導入することについて、どう思いますか？ 考えを出して、そしてまとめてみましょう。

えっ！ 私たちが裁判!?

★金曜日の作業

〈作文を書いてみよう〉

昨日、書いたメモをもとに、要約文を書きます。最後に意見も書きます。

第一段落……「君も、裁判官」のところに書いた文を書き写し。

第二段落……「裁判で裁かれるもの」のところに書いた文を書き写し。

第三段落……「時間のかかる裁判」のところに書いた文を書き写し。

第四段落……「あなたは、裁判にAーを導入することについてどう思いますか」で書いたアイデア
アをまとめて書く。

*添削をしますので、まずは、とにかく書いてみましょう。木曜日の下書きが本当に大切です。